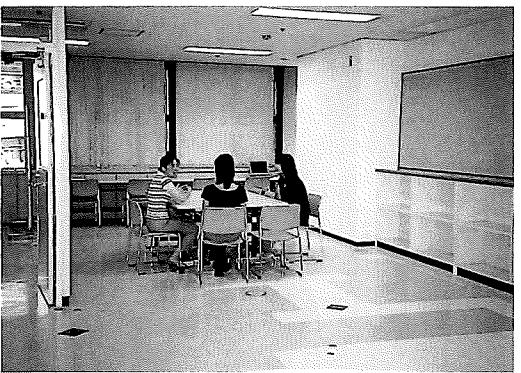


「堺市民活動サポートセンター」が 7月1日にオープン



堺市社会福祉協議会では、ボランティア・市民活動の拠点として、「堺市民活動サポートセンター」を7月1日にオープン。堺市総合福祉会館2階に開設された同センターは、活動に必要な会議室や、印刷・会報づくりなどを行う作業室の貸出、団体が利用できるロッカーやメー



ルボックスなどが設置されています。

また、事務所や簡易事務所の安価な貸出も行われ、合わせて、情報コーナー・交流コーナーもあり、市民活動をサポートする体制が整備されました。

事務所スペース（約20m²・月額21000円）は4室の定数に対して10団体からの申し込みがあり、ロッカーも10個（月額525円）に対して16団体から希望があるなど、いずれも抽選で利用団体が決められるという盛況ぶり。会議室（無料）もすでに約40団体からの予約申し込みが入っているなど、今まで活動場所の確保に悩んでいた市民活動団体にとっては、センターの開設が活動に弾みがつくものと好評です。

ボランティア情報満載

大阪ボランティア情報ネットワーク

<http://www.osakafusyakyo.or.jp/ovn/>

たくさんのアクセスをお待ちしています

OSAKA VOLUNTEER INFORMATION NETWORK

まだ間に合う!
夏のボランティア体験
プログラム
参加者募集中

この夏、心の世界を
ボランティア体験プログラム

特集号
2004 JUNE
(大阪ボランティア情報ネットワーク)

大阪府ボランティア・市民活動センター、もしくは地元の社会福祉協議会ボランティアセンターに、約460のプログラムを紹介する冊子を用意しています。お気軽にお問い合わせください。

大阪府ボランティア・市民活動センター
TEL 06-6762-9631



『アイ・あいロビー』は、市民のボランティア活動の拠点として、平成10年3月に開設されました。開設以来、全国的にも先駆けた施設として、他県・他市からの視察も多く、和泉市民の利用や活動登録は勿論、近隣他市で活動するボランティアグループの利用もあり、幅広い分野のグループが、当施設を交流の拠点として活用しています。

当市では市社協から、ボランティアセンターだけが独立して運営され、開設以来6年間、市民活動のサポートセンターとしての様々な取組みがな

されています。これからは今まで以上に、「市民に寄り添うボランティアセンター」として機能し、市民の身近な施設として利用して頂けることを願っています。

今後、ボランティア・市民活動が、社会において益々重要な役割を担つていくことでしょう。そんな中、「アイ・あいロビー」が多くの方々から親しまれ、様々な「出会い」の場として活用され、ボランティア活動の「メッカ」といわれるような施設になることを期待しています。

みなさん、お近くにお越しの際には、ぜひお立ち寄り下さい。市民スタッフ一同、「素敵な出会い」をお待ちしています。お気軽にどうぞ。

アイ・あいロビー運営委員会
運営委員長 池辺 豪俊

泉州

市民に寄り添う
ボランティアセンター
「アイ・あいロビー」

和泉市

交野市の栗原さんに緑綬褒章

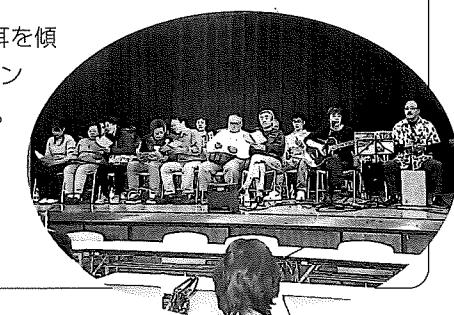
交野市ボランティアグループ連絡会の前会長、栗原清美子さんが、春の緑綬褒章を受賞されました。緑綬褒章はボランティア活動に功績のあった人等に送られるものですが、栗原さんは昭和52年の交野市ボランティア協会発足以来リーダーシップを大いに發揮され、交野市のボランティア活性化に大きな貢献をされました。今回の受賞はそうした活動が評価されてのものであり、心よりお祝い申し上げます。

平成16年度 大阪府市町村ボランティア連絡会 総会を開催

5月21日、大阪社会福祉指導センター5階ホールにおいて、平成16年度大阪府市町村ボランティア連絡会の総会が開催されました。

平成15年度の事業報告、収支決算報告、ならびに16年度の事業計画案、収支予算案が満場一致で採択され、続く第2部では、八尾の精神障害者地域生活支援センター「ちのくらぶ」の皆さんによる、トーク＆ライブがくり広げられました。

精神障害者当事者が語る体験談に耳を傾けたあとは、「ちのくらぶ」が誇るバンド「ちのくらぶ」の楽しいライブ。次々と演奏されるオリジナル曲の楽しいリズムにあわせて、会場からは手拍子と大きな拍手が送られました。





街角で見つけたボランティア

—河南町—

こんなところにも人の善意



“花だんご”とは河川浄化資材“EM土だんご”的こと

人たちが、今年は臭わないと言われたことなどです。といつても、縦横に張り巡らされている水路の上流や側溝からは、常に生活廃水まじりの汚水が流れきており、一朝一夕にはいかないことも事実です。浄化活動している面積は、水路の全体面積の万分の一にも

満たない現状なので、まだまだ先は長いのですが、会員一人一人の”美しい

水路に蘇らせよう”との熱き思いが続

く限り、いつの日か”小鮎つりしかの

川”を子や孫に残してゆけると信じて”

花だんご”作りをしています。

※“花だんご”とは、水路を美しくす

る為の資材、EM土園子のことを、私

たちは桜並木に因んで”花だんご”と

命名しています。(NHKで放映され

た”道頓堀川を美しくする会”は、元

氣玉”と名づけておられるようです)。

各会の連絡先……………

みどり会

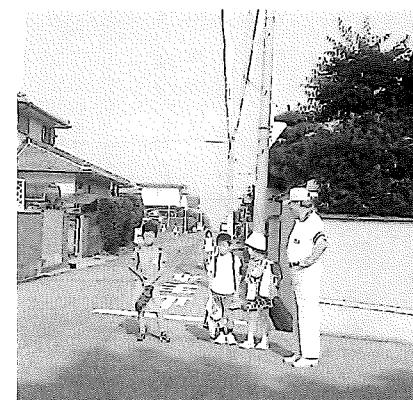
0728820990 (八木)

大光会

0728823053 (岡田)

花だんごネットワーク

0728811287 (平井)



住民による防犯バトロールで

6年間毎朝、小学生登校時の
交通安全の指導と朝の挨拶

南河内郡河南町大宝にお住まいの木

下昭さん(75歳)は、平成10年4月から、子どもの登校時(朝7時30分から約1時間)に、殆ど休むことなく毎日通学路に立ち、交通安全の指導と朝の挨拶・対話をされています。通学路を通り一人一人に、交通安全を気遣いな

南河内郡河南町大宝地区では、昨年春から夏にかけ「空巣狙い」が頻繁に発生し、これを防止するために昨年7



単なる交通安全だけでなく、元気な朝の挨拶、簡単な対話に大きな意義があるように感じました。子どもたちは、この木下さんから大切な何かを学んでくれることでしょう。このように地道な長期にわたる善行は、誰にでも出来るものではありません。ご本人は、「子どもが好きで、また自分の健康のためだ」と言われますが……。

月から、住民による自発的な防犯バトロールが実施されています。その結果、その後「空巣狙い」の発生がなくなり、住民の皆さんから感謝されています。このバトロールは、防犯だけでなく、住民相互のふれあいの場として大きな意義があつたとのことで、参加される方から「当初は、見知らぬ、道で顔をあわせても挨拶もしたことのない物の姿が消えて、メダカや小魚の姿が多く見られるようになつたこと、毎年夏場にはヘドロの悪臭がひどく、窓を開けられないと言っていた近隣に住む

がら、大きな声で「お早う」と……時には子どもの肩に手を掛けながら声をかけます。子どもたちは大きな声で「お早うございます」と返します。何と健康的な、微笑ましい光景でしようか!

朝の挨拶、簡単な対話に大きな意義があるように感じました。子どもたちは、この木下さんから大切な何かを学んでくれることでしょう。このように地道な長期にわたる善行は、誰にでも出来るものではありません。ご本人は、「子どもが好きで、また自分の健康のためだ」と言われますが……。

ことは、地域ぐるみの支え合い・助け合いの第一歩ではないでしょうか。このようなグループが各所に出来、それが更に大きな輪になれば、どんなに素晴らしいことでしょうか。



水路に“花だんご”を投下する



生涯青春！ボランティアで地域社会に貢献

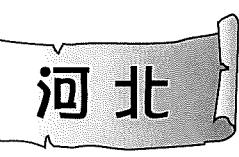
—豊能町—

月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

ゴミ分別表がカラーになり、とても見易くなりました。

年間活動のなかで、地域の方々よりの要望(特に高齢の方)に応えるべく、ゴミ分別表の色彩化にも取り組みました。ゴミ減量化については、講演会も開催し、環境に関する認識と教育を推進しています。

豊能町ボラ連にも積極的に参加をし、多くの人の出会いを大切にしています。これからは、ますます高齢化が進みライ



こんなボランティア見つけた！

—門真市—

フワーハーの取り組みが問われてくる昨今、ボランティア活動に参加できる喜

びを生涯青春に置き換えて楽しんでまいりたいと考えております。

つ地域を活動の場として、平成5年「虹の会」が発足しました。現在35名で随時活動を開催し、定例会は水曜日に集っています。僅かながらも地域貢献ができるとの思いからスタートしました。ポイ捨て缶の回収をしながら美化運動に、その回収缶(アルミ)

については授産施設(たんぽばさん)へ持っています。またカーブミラーの清掃にと、それぞれ月1回の活動をしています。

リサイクルバザーにおいては、地域の方々より、暖かい真心の品々をいただき、ボランティアスタッフと豊能町祭に参加しています。その時得た収益金は、地域施設へ還元、社会福祉協議会(車椅子、時計)、図書館、小学校(贈書)、教育委員会(防犯ベル)等に寄贈してきました。

生方方に喜ばれています。

そして、今年5月に発足した「花だんごネットワーク」は、中野利佑会長以下64名の会員が一丸となって、桜並木の水路の浄化活動に取り組んでいます。大阪府内みどり百選に選ばれている、薫蓋樟(樹齢千年を超えるクスの大樹)と砂子の桜並木は、ともに門真市の三ツ島地区にあります。桜の頃には、この桜並木の足元の水路に花見舟を浮かべて、市民の憩いの場となっています。ですが、その水路の汚染と、悪臭が、桜の美しさを半減。そこで常々、頭を

りしています。

門真市の三つの環境ボランティアグループを紹介します。

「みどり会」は、花いっぱい運動で道行く人に季節の花を楽しんでもらい、また、生ごみをリサイクルして作った堆肥を公園の樹木に施したり、栄養たっぷりの土を希望する人に配ります。

りしています。

「大光会」は、リサイクルした生ごみ堆肥を学校の花壇や畑に入れて、総合学習の一環として、学童と共に、さまざまに作りに挑戦し、PTAや、先生方も喜ばれています。

生方方に喜ばれています。

「花だんごネットワーク」は、中野利佑会長以下64名の会員が一丸となって、桜並木の水路の浄化活動に取り組んでいます。大阪府内みどり百選に選ばれている、薫蓋樟(樹齢千年を超えるクスの大樹)と砂子の桜並木は、ともに門真市の三ツ島地区にあります。桜の頃には、この桜並木の足元の水路に花見舟を浮かべて、市民の憩いの場となっています。ですが、その水路の汚染と、悪臭が、桜の美しさを半減。そこで常々、頭を

りしています。

門真市の三つの環境ボランティア

グループを紹介します。

「みどり会」は、花いっぱい運動で

道行く人に季節の花を楽しんでも

らい、また、生ごみをリサイクルして作

った堆肥を公園の樹木に施したり、栄

養たっぷりの土を希望する人に配っ

た

ります。

りしています。

「大光会」は、リサイクルした生ご

み堆肥を学校の花壇や畑に入れて、総

合学習の一環として、学童と共に、さ

く、ゴミ分別表の色彩化

にも取り組みました。ゴミ減量化については、講演会も開催し、環境に関する認識と教育を推進しています。

豊能町ボラ連にも積極的に参加をし、多くの人の出会いを大切にしています。

これからは、ま

すます高齢化が進みライ

りしています。

生方方に喜ばれています。

生方方に喜

柏原市ボランティア連絡会では、平成16年9月4日（土）、「第五回 どんな！こんな！」ボランティア展」を開催しました。この「ボランティア展」はボランティア会員相互の理解と、日々それぞれの場所で活動している各グループが、その活動内容を披露することで、さらに親睦を深めることを目的

河南 ボランティア展開催



ループに募金の呼びかけを行いました。その結果72,532円の募金が集まり、新潟県や兵庫県豊岡市などに災害義援金として送りました。被災地（豊岡市）にボランティアと

として実施しています。

私たちのボランティア展は費用を掛けずに行なうことをモットーに、そして成功させるためお互いに協力してPR用チラシからポスター、ノボリ、看板などをすべて手作りで行いました。

会場ホールの設営準備は前日に、

成16年9月4日（土）、「第五回 どんな！こんな！」ボランティア展」を開催しました。この「ボランティア展」はボランティア会員相互の理解と、日々それぞれの場所で活動している各グループが、その活動内容を披露することと、さらに親睦を深めることを目的



して行なった人もおり、多くの募金がありました。協力もあり、今後も被災された地域には、連絡会として協力をしていくたいと思います。

①「シアターや復興までの様子を見て恐ろしさ、無惨さを思い出しました。防災意識を風化させないようになります」

②「地震発生時の映像を見て、戦争（第二次世界大戦）の時の体験を思い出し恐怖に足がすくみました。常に1・17の心構えができるいるかと自分に問い合わせました」「忘れることがない日のほうが、いつか遠い日となってしまっていた」

して行なった人もおり、多くの募金がありました。その結果72,532円の募金が集まり、新潟県や兵庫県豊岡市などに災害義援金として送りました。被災地（豊岡市）にボランティアと

して行なった人もおり、多くの募金がありました。その結果72,532円の募金が集まり、新潟県や兵庫県豊岡市などに災害義援金として送りました。被災地（豊岡市）にボランティアと



話など約40分にわたってお話を頂きました。

1階フロアでは展示コーナーとして介護用品や手芸用品、自助具などを、それぞれのグループによる展示や絵本の読み聞かせ、3階の交流ホールでは日頃ふれあいサロンや老人ホームなどを訪れて楽しんで頂いています。展示ブースは当日各グループが準備し、調理グループはボランティア会員用約250食のお弁当作りに奮闘しました。

特別講演にはNHKの土曜日朝のTV番組「ウイークエンド関西」やスポーツキヤスターとして活躍中の藤井彩子アナウンサーをお迎えしました。この日も朝の放送を終えて駆けつけてくださいました。

テーマは「放送の現場から」。取材体験や放送を通していろいろな楽しいお話をして頂きました。まず、入局初任地がNHK島根放送局、その島根県の過疎地での見守りネットワーク立ち上げボランティア取材のお話、スポーツを通してのお話、昨年は8月に行われましたアテネオリンピックで体操選手の金メダル獲得でP.R.用チラシからポスター、ノボリ、看板などをすべて手作りで行いました。

島根県の過疎地での見守りネットワーク立ち上げボランティア取材のお話、スポーツを通してのお話、昨年は8月に行われましたアテネオリンピックで体操選手の金メダル獲得でP.R.用チラシからポスター、ノボリ、看板などをすべて手作りで行いました。

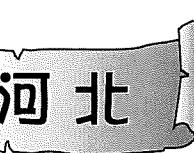


吹田市ボランティア連絡会には高齢者施設・福祉施設、精神保健福祉、青少年、音訳、点訳、手話など31団体が参画。ボランティアのスキルアップと研修会・講座・他市との交流会を開催しています。

北摂 広めよう 深めよう ボランティア活動

—吹田市—

また市民に幅広くボランティア活動の理解と关心を深めてもらうために、リーフレットを作成配布し、PR・啓発活動を行っており、その一環として体験参加講座受講者にフォローアップ講座を行って、ボランティアの増員に取り組みながら、さらに新たな活動やグループの立ち上げを支援しています。



震災の研修に行って来ました

—四條畷市—

そして今後は、高齢者自身にもできる傾聴ボランティア講座や拡大写本のような実技講座など、活動分野別の講座をセントーとともに取り組んでいきたいと思っています。

私たちボランティアは地域福祉活動の担い手であります。「障害のあるなしにかかわらず、住み慣れた地域で安心して人として豊かに暮らせるまちづくり」をめざしている吹田市協の地域福祉活動計画との連動をもふまえた活動が、持続できることを願っています。

北摂 広めよう 深めよう ボランティア活動

—吹田市—

受け入れ見守り、支援する地域もでき、講座の成果が出はじめています。そこで今後は、高齢者自身にもできる傾聴ボランティア講座や拡大写本のような実技講座など、活動分野別の講座をセントーとともに取り組んでいきたいと思っています。

私たちボランティアは地域福祉活動の担い手であります。「障害のあるなしにかかわらず、住み慣れた地域で安心して人として豊かに暮らせるまちづくり」をめざしている吹田市協の地域福祉活動計画との連動をもふまえた活動が、持続できることを願っています。

四條畷市ボランティア連絡会（以下「連絡会」）では、地震などの災害に関する研修と各グループ間の交流を目的として、平成16年9月に「阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター」（神戸市）に行つて来ました。今年は阪神大震災から10年という節目の年であり、夏には福井県で台風の被害もあったので、みなさんの災害に対する関心も高いようでした。当 日は各グループから総勢56名が参加して大型バスに乗り出発しました。まず、館内に入つてシアターを見ました。が、建物の壊れる様子や轟音が響き渡り地震の疑似体験をする中で、改めて災害時の怖さを思い出した人もいました。

展示部門では様々な写真や破壊された展示物などがあり、震災時に現地に応援に行つた人は改めて当時の状況を思い出しながら話をしていました。午後は神戸市立フルーツフラワーパークに行き、昼食と他グループの人との交流を行いました。温泉に入つた人や買いた物をする人など、日頃関われない人の交流も行うことができ、お土産、お花、植木、果物などを手に持ち、帰りのバスに乗り込みました。

震災に対する問題を改めて考えることができ、他グループの人との交流も行い大変有意義な一日となりました。

連絡会では、近畿地方の水害や新潟の震災に対して各ボランティアが協力し、当事者加して大型バスに乗り出発しました。まず、館内に入つてシアターを見ました。が、建物の壊れる様子や轟音が響き渡り地震の疑似体験をする中で、改めて災害時の怖さを思い出した人もいました。

展示部門では様々な写真や破壊された展示物などがあり、震災時に現地に応援に行つた人は改めて当時の状況を思い出しながら話をしていました。午後は神戸市立フルーツフラワーパークに行き、昼食と他グループの人との交流を行いました。温泉に入つた人や買いた物をする人など、日頃関われない人の交流も行うことができ、お土産、お花、植木、果物などを手に持ち、帰りのバスに乗り込みました。

震災に対する問題を改めて考えることができ、他グループの人との交流も行い大変有意義な一日となりました。

このボランティア展にはボランティア会員をはじめ一般の方の来場者も多くあり、親睦と友好の輪が広がりました。

第13回全国ボランティアフェスティバルひわこ

（摂津市ボランティア連絡協議会）

秋のバスツアー研修

行程 ※単独行動はしないで、時間厳守でお願いします。

集合・出発	08:15	全国Vフェス参加	09:15	龍谷大学	12:10	昼食(温泉)	12:30	二葉屋	14:15
役所									
観光	14:30	石山寺(お土産)	16:00			解散		役所	17:00

摂津市ボランティア連絡協議会

秋のバスツアー研修として48名が参加

☆9月26日（日）大津ロック会場に参加

摂津市ボランティア連絡協議会では、毎年「秋のバスツアー研修」を行なっています。今年度は役員改正に伴い5月に新しくメンバーが変わつたばかりで、前期「北摂津ロック交流会」を開催しました。新役員の勢いで7月に開催し終えたものの、まだ役員同士のコミュニケーションも取れていないという状況。そんな折に、全国ボランティアフェスティバルが今回「滋賀県」で開催されることを知り、「秋のバスツアー研修」は、全国ボランティアフェスティバルに参加し、会員相互間の交流と研修を重視したいと計画しました。



障害者の人も、そうでない人も共に心のキャッチボールの出来る人に…



【楽しい、ひと時でした】

Vサイン
ボランティア

～大阪府市町村ボランティア連絡会（ボラ連）

Vサイン

大阪府市町村ボランティア連絡会
泉州ロック交流会



その後、各市町の代表者から参加者の紹介をしながら、熱のこもった活動の近況報告があり、時間通りに終了することができました。

11月27日（土）に南海高石駅前のたかいし市民文化会館アプラホール会議室において、大阪府市町村ボランティア連絡会泉州ロック交流会が開催されました。

高石市ボランティア連絡会としては、会館内が迷路のようで案内なしでは会議室までたどりつくのに大変だからと、早くから当連絡会の方にそれぞれの場所に配置してもらいました。難なく時間通り開催することができました。

最初に南海福祉専門学校の専任講師水谷寛二先生の「ボランティア活動を楽しく続けるために」の講演から始まり、ユーモアたっぷりの言葉や動作を交えての話術に、引き込まれるように聞き入りました。中でも私自身のことをどれだけ表現・分析できるかという問い合わせに、自分のことを解っているようで解っていかつたことを思い知らされたこと。次に好感が持てる人はどんな人かという問い合わせは、私自身を他人から見ての第一印象を、お互いに判断したりされたり。ゲーム感覚の中で自分を引き出し、見つけ出す喜びを味わいながら、これから社会生活を送る上で、人間と人間の関係を抜きにしては語れないことを強調していると思います。

泉州

泉州ロック交流会に参加して
—高石市—

精神保健啓発フォーラム・
泉州ロックボランティア交流会

じることができるようになります。

左記のいずれか一つを選んで参加。

平成17年2月19日（土）8時45分～17時30分
甲山森林公園

平成17年3月19日（土）8時45分～17時30分
関西学院大学上ヶ原キャンパス

A 大学・短大生でボランティア経験のない方

B 一般行政法人 日本学生支援機構 大阪支部

問合せ TEL 06-6962-7654

e-mail osaka@jasso80.jp

ボランティア活動セミナー & 参加者大募集！

学生でボランティア経験のない方を対象に行い、セミナー受講後に体験ボランティアができる日を設けています。

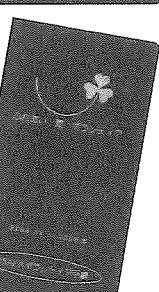
①セミナー
日時 平成17年2月10日（木）10時～16時 場所 大阪NPOプラザ（地下鉄・阪神）

②体験ボランティア
日時 平成17年2月10日（木）10時～16時 場所 野田 徒歩5分

子どもと一緒に世界の遊びやピクニックなどを行い、子どもたちが楽しみや喜びを感じます。

ができる日を設けています。

③ボランティア手帳発行！



活動予定が3年間分(2004年12月～2008年3月)

記入できる！
ボランティア手帳発行！

大阪府内のボランティアセンター、支援団体の連絡先を網羅。ボランティア活動に役立つ情報満載！

日常のボランティア活動を協力にバックアップします。是非みなさまの活動にお役立てください！1冊150円（税込）（この手帳は一部ヤクルト基金の助成をいただき作成しています）

申込先
大阪府ボランティア・市民活動センター
ボランティア手帳係まで
TEL 06-6762-9631
FAX 06-6762-9679

献血ボランティア募集

街頭等での献血会場における献血およびかけをお願いします。

献血活動日は相談のうえ随時、10時～16時30分（短縮可）

場所 大阪市内での街頭等の献血会場

費用 交通費のみ200円まで支給

問合せ 大阪府赤十字血液センター

担当 涉外課 片岡

情報コーナー

じることができるようになります。

左記のいずれか一つを選んで参加。

平成17年2月19日（土）8時45分～17時30分
甲山森林公園

平成17年3月19日（土）8時45分～17時30分
関西学院大学上ヶ原キャンパス

A 大学・短大生でボランティア経験のない方

B 一般行政法人 日本学生支援機構 大阪支部

問合せ TEL 06-6962-7654

e-mail osaka@jasso80.jp

災害ボランティアならびに義援金にご協力を

地震や津波など自然災害により、多くの人々が家や仕事を失うなどの深刻な被害を受けています。
みなさまからの温かいご支援をお願いします。

福岡県西方沖地震 ボランティア募集

福岡市災害ボランティアセンター（福岡市社会福祉協議会内）ではボランティアを募集しています。
事前に下記あてに電話連絡の上、参加してください。
092-714-3916または092-714-3921（午前8時～午後9時）

福岡市社会福祉協議会 福岡市ボランティアセンター
〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-3-39 市民福祉プラザ2階

福岡県西方沖地震災害義援金

- 受付方法 郵便振替（振込手数料は免除）
- 口座名義 社会福祉法人福岡県共同募金会（シャカイフクシホウジン フクオカケンキヨウドウボキンカイ）
- 口座番号 01780-6-4404
- 受付期間 平成17年5月31日（火）まで
通信欄に「福岡県西方沖地震災害義援金」と明記してください。

スマトラ島沖地震・津波災害救援金

- 受付方法 郵便振替（振込手数料は免除）
- 口座名義 日本赤十字社（ニホンセキジュウジシャ）
- 口座番号 00110-2-5606
- 受付期間 平成17年6月30日（木）まで
通信欄に「スマトラ島沖地震救援」と明記してください。

「災害時にいけるボランティア活動について」と題して、大阪大学大学院人間科学研究科助教授・渥美公秀先生の講演をきました。スライドを使いながら、阪神・淡路大震災、新潟中越地震時の様子や、そのときのボランティア活動内容をわかりやすく説明していただき、あらためて災害の恐ろしさを感じるとともに、災害時のみならず日頃のボランティア活動の大切さや必要性を認識しました。

講演後、「被災地発「コミュニティの底力」と題してパネルディスカッションがありました。そこでは阪神・淡路大震災時、北淡町では大変な災害を受け39名もの方が亡くなられたにもかかわらず、その日のうちに全員の安否が確認できた



「一日、ボランティアに携わっている方々の話を聞き、ボランティアは楽しんでいい、どのような事柄でもいいので、一步前に踏み出していく勇気が大事なんだと思うとともに、もし被災しても、V連のネットワークを活かして何ができるのか、をあらためて考えさせられ、今後の活動の展開につなげていきたいと思いました。」



公開講座「活動おこしサポート」に参加して

田尻町

大阪府住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会

地域の課題がますます複雑化するなか、平成15年9月に表記の連絡会が組織され、現在約20の団体が加入して情報交換や研修会、交流会や啓発活動を行っています。ご関心のある団体の参加をお待ちしています。

●連絡会の活動は…

■研修会の開催

- 昨年度は「道路運送法第80条許可に関するガイドライン」「子育てニーズに応える支援のあり方を考える」「指定管理者となったNPO法人に学ぶ」などの研修会を開催しました。



■交流会の開催

- 関係団体との連携
- 啓発活動

●連絡会に加入するには…

- 年会費5,000円。加入申込書受付後、請求書等をお送りします。

●連絡会に加入すると…

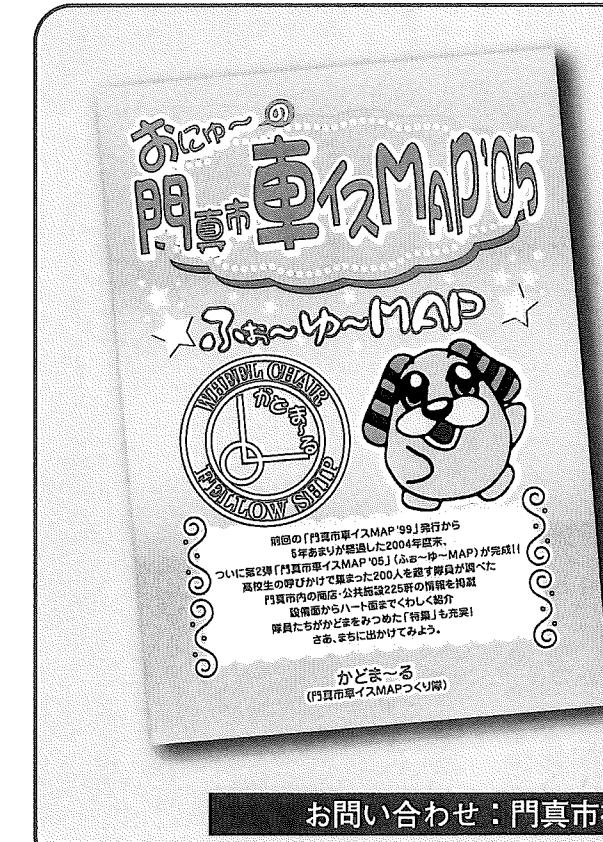
- 連絡会主催の研修会及び大阪府ボランティア・市民活動センターが主催するさまざまな講座参加費の割引があります。
- 府社協発行の『福祉おおさか』をお送りします。

問合せ先 大阪府社会福祉協議会 大阪府ボランティア・市民活動センター

〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54

TEL 06-6762-9631 FAX 06-6762-9679

URL : <http://www.osakafusyakyo.or.jp/vcenter/vcenter.html> よりアクセスできます。



高校生たちによる 「門真市車イスMAP'05」が 5年ぶりにリニューアル発刊!

1999年8月に、門真市の高校生が中心になって発刊された「門真市車イスMAP」。このほど、その改訂版が発刊されました。

97年に、府立門真西高校の生徒を中心に結成されたサークル「かどま～る」（門真市車イスMAP作り隊）。市内の公共施設やさまざまなお店のバリアフリー状況を調べる活動は後輩方に受け継がれ、今回、200人を超す隊員と多くの人たちの協力を得て、5年ぶりの発刊にこぎ着けました。

3月20日には門真市のルミエールホールにおいて「完成報告会」を開き、全国各地で作られている福祉MAPの展示会も同時開催。制作された1000部は順次、門真市民に無料で配布される予定です。

お問い合わせ：門真市社会福祉協議会 TEL 06-6902-6453